

豊岡市教育研修センターだより



豊岡市教育委員会 R5(2023).7.7

No.5

豊岡市HP→左中段「暮らし・行政」→右下「教育・学校」→「教育研修センター」へ
豊岡市のホームページにもアップしています

学力向上に係る学習会
勝見健史先生の講義より

学力向上に係る学習会より～授業づくりのヒント

豊岡市は、右表に示す「関係づける思考」について、各校実践を深めてまいりました。

「関係づける思考」を授業の中に落とし込んで実践し、振り返り、実践事例としてまとめていただいています。共有フォルダに保存しています。ぜひご活用ください！！



論理的思考を支える「思考のすべ」と促す名辞

思考	促す名辞
比較	どちらが～でしょう
類別	～から見ると〇〇と□□は同じ仲間です
分析	～はA、B、Cから成り立っています
理由付け	～と書かれているから、==と思います
推論	〇と□だとすると、～ではないでしょうか
解釈	これは、～ということです
具体化	これは例えば～です
一般化	これらの例から==といえます
評価	〇は□の方がよい。
批判	理由は==だからです

『「ビフォー・アフターで取り組む国語科授業デザイン」
勝見健史著 文溪堂 2017』より

1 「子どもたちに求められる学力」

→世の中の“知識観”が変わってきている！

【 ▲従来の知識観 ○これからの知識観 】

- (1) ▲「宣言的知識」：暗記、蓄積してテストで再生する
○「手続き的知識」：知識が関連づいて汎用化される
- (2) “賢さ”ということ
▲物知り、博学、高得点
○（活用、仲間と一緒に）創造力、問題解決力
- (3) ▲何を知っているか（内容：コンテンツ）
○どのような問題解決ができるか（資質・能力：コンピテンシー）※将来の成功は、知識・技能の量ではない。
- (4) 学習指導要領「関係づける力」
▲固定化した「正解」を確認する授業
○ある状況文脈下の対話交渉的な問題解決

2 関連づけて考える授業！

- (1) 「教科知」と「生活知」との接続…
教科を、現実生活を読み解く眼鏡に
実生活・実社会とのかかわりに着目。
どの単元で展開できるか…設定する工夫を！
- (2) 将来、様々な局面を乗り越えていく
ために…「比較」、「分類」、「理由付け」、「評価・批判」
→どの教科でも、用いられる思考の仕方：
横断的視点（教科・領域）
縦断的視点（学校種）
→小学校でも中学校でも、どんな教育活動でも、豊岡市全体で学ぶ「カリキュラム」に

3 授業でのヒント！

- ア 教室の学びに具体的な目的・状況・局面を持ち込む
- イ 多読型
- ウ 条件に基づいた表現の妥当性の吟味の場の設定
(書かせっぱなし×)
- エ 「読解」の授業の考え方の転換
- オ 全教科、領域で「思考の仕方」を意識させる